

あんなっす。 vol.01

— かつの厚生病院つうしん —

※「あんなっす」とは地域の方言で「あのね」の意味です

かつの厚生病院広報誌

平成25年8月20日発行

発行／秋田県厚生農業協同組合連合会

かつの厚生病院

〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字向畑18番地

TEL:0186-23-2111 (代表)

FAX:0186-23-3653

ホームページ／<http://www.hspkazuno.kazuno.akita.jp>

Eメール／kazunohp@hspkazuno.kazuno.akita.jp



創刊号

さわやか、
しかも、
好感度大!

頼れる常勤ドクターを
ご紹介します!

 かつの厚生病院

院長からごあいさつ

～ 創刊にあたって～

院長 松谷 富美夫



新病院のオープンから4年目を迎え、もっと当院の情報を地域の皆様にお伝えしようと広報誌を発行することとしました。創刊にあたり皆様にご挨拶を申し上げます。

【ハード面の充実とソフト面の課題】

当院はこれまで、行政をはじめ地域の皆様や関係機関のご協力により、建物や最新医療機器等の設備いわゆるハード面の整備充実を図ってきました。一方で、全国的な問題でもある医師充足というソフト面については課題を残したままです。ご存知のとおりここ鹿角は旧南部藩であったという歴史的背景、更には距離的に秋田市から最も遠いことなどの理由により、当院への主な医師派遣は隣県の岩手医科大学に多くを頼っているのが実情です。また各医師の派遣期間も概ね1～2年と短く、さらには震災の影響によって岩手県自身が医師不足に陥っている状況が当院の医師充足にも少なからず影響を及ぼしています。

【少数精鋭による「顔」の見える医療】

このように厳しい状況ながらも、17名の常勤医師をはじめとするすべての医療スタッフが一つのファミリーとして横の連携を大切にチーム医療を実践し、正に少数精鋭による「顔」の見える医療を展開していくことが今何よりも重要なことであり、我々に与えられた責務であると考えております。

【地域の未来に繋がる医療】

これからも行政並びに関係機関そして住民の皆様方のご理解とご協力を頂きながら、保健予防活動や介護福祉事業を含め地域の未来に繋がる総合的医療を提供して参ります。

この広報誌『あのなっす。』を通じ、文字どおりお互いに気兼ねなく声を掛け合えるような関係を築きながら、地域の皆様にとって当院をより身近に感じて頂けるような情報をお伝えして参りますので、暖かく見守って下さることをお願い申し上げ、創刊のご挨拶とさせていただきます。

地域中核病院としての取り組み

「地域医療を守る」ために様々な事業を行っています

プロフェッショナル professional

専門の知識と技術で急性期医療、予防医療を担っています。

■がん治療

消化器外科領域の専門的がん治療、各種疾患の化学療法など標準的ながん治療を提供し、がん拠点病院と連携しながら治療を行っています。

- 外科手術、内視鏡治療
- 化学療法
- がん拠点病院と連携
- がんによる疼痛管理

■災害医療への取り組み

災害拠点病院としてハード・ソフト両面の充実を図り、地域の安全を守っています。

- 災害時の医療機能維持
- 災害医療訓練の実施
- DMAT（災害派遣医療チーム）の設置（今年度設置予定）

パートナーシップ partnership

地域・行政とともにみなさんの安心を守っています。

■地域医療連携の推進

地域の限られた医療資源を有効に活用し、患者さんの健康をみんなで見守ります。

- かかりつけ医との連携
- 高度医療機関との連携
- 訪問看護ステーション（在宅医療体制）

■行政・大学との連携

行政や大学と密接に連携し病院機能の維持発展に努めます。

未来 for the future

子どもたちのため、明るい老後のため

■ドクター・ナース

医療スタッフを確保し地域の医療を守っています。

- 行政との協働による医師派遣要請
- 教育機関の学生実習受け入れ
- スタッフの人間力と医療技術レベルの向上

■救急医療

地域の急性期病院として、さまざまな疾患に対応します。1次・3次救急医療機関と連携し安心を守っています。

- 2次救急医療体制の維持
- 外科手術（消化器・脳血管・筋骨格ほか）
- 脳血栓溶解療法（t-PA）
- 岩手医大循環器センターとの連携
- 消防機関との症例検討会



■予防医療体制の充実

病気が芽を出す前に「健康の見張り役」としてわずかなほころびも見逃しません。

- 人間ドック・脳ドック
- がん検診
- 生活習慣病予防
- 予防接種・各種健診



■政策的医療の維持

へき地医療、周産期医療、小児医療、精神科医療を維持しています。

- へき地診療所
- 分娩環境・小児医療
- 精神医療





●消化器内科(生活習慣病)
院長 **松谷 富美夫**

日本消化器病学会認定消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医

少数精鋭の医師がチーム医療で診療に従事しています。

「かかりつけ医」である開業医の先生方との連携をもって地域医療を守って参りますので、地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



●外科
副院長 地域医療連携室長
阿部 薫

日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医

心配な事があれば何でも相談してください。全身を診るのが外科です!



●外科
診療科長 **菅野 公德**



●整形外科
診療部長 医局長 **吉村 文孝**

日本整形外科学会認定整形外科専門医

この広い鹿角地域の中核病院の医局長として、医局をまとめながら住民の皆様方と触れ合いたと思います。よろしくお願いします。

24時間体制で脳卒中患者さんの受け入れを行っています。よろしくお願いします。

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医、日本救急医療学会認定救急科専門医



●脳神経外科
診療部長 **笹生 昌之**



●消化器内科
診療部長 **石田 弥**



●消化器内科
医員 **吉田 雄一**



●消化器内科
医員 **遠藤 啓**

消化器疾患を中心に、地域に根ざした診療を行ってまいります。



●整形外科(リハビリテーション科)
医長 **鈴木 忠**

骨折などの急性疾患から変形性脊椎症・変形性膝関節症などの慢性疾患まで、骨・筋・神経の痛みにお悩みの方は是非整形外科を受診して下さい。



●形成外科
診療科長 **林 正康**

日本形成外科学会認定形成外科専門医

外傷(ケガ・やけど・傷跡)・皮膚腫瘍・静脈瘤・眼瞼下垂など体の形に関係する疾患を診ています。シミ・アザ・ホクロなどの美容外科も行っています。詳しくは病院のホームページをご覧ください。



●脳神経外科
診療科長 **石垣 大哉**

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医

脳卒中からめまいまで何でも診ます。心配なときは様子を見ないで、すぐ受診を!

人間ドックや各種健康診断を通じて、地域の皆様の健康を守ります。



●消化器内科(健診センター)
室長 **遠藤 尚和**

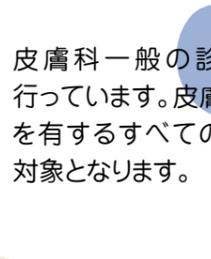
さわやか、しかも、好感度大!



●小児科
診療科長 **塚原 央之**

日本小児科学会認定小児科専門医

風邪・胃腸炎からアトピー・喘息・鼻炎・便秘・繰り返す頭痛や腹痛など、こどもの幅広い症状に対応致します。お気軽にご相談・ご来院下さい。



●皮膚科
診療科長 **村岡 聡介**

皮膚科一般の診療を行っています。皮膚疾患を有するすべての方が対象となります。

頻尿などお困りの症状がありましたらご相談下さい。

日本泌尿器科学会認定泌尿器科専門医



●泌尿器科
医長 **加藤 廉平**

女性のすべてのライフステージにわたる診療を行っています。お一人で悩まず、まずはご相談下さい。



●産婦人科
医員 **長尾 幸**

産科および婦人科全般にわたり診療を行っています。お困りごとがありましたらお気軽にご相談下さい。



●産婦人科
診療科長 **金森 勝裕**

日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医

頼れる常勤ドクターをご紹介します!

私たちは横の連携を大切にチーム医療を行なっています。どんな症状でも安心してご相談ください。

地域医療連携室の
おしごとを
ご紹介します

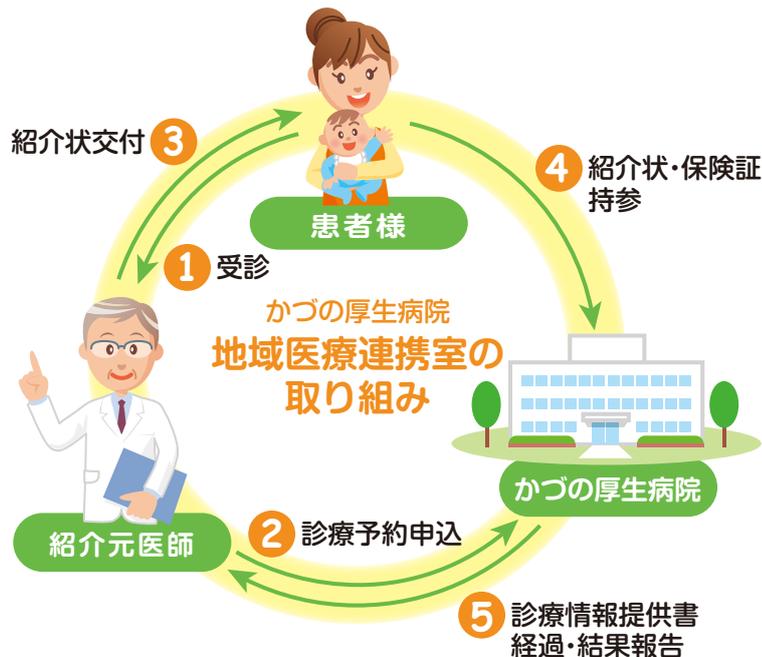
こんにちは 地域医療連携室です！

当地域医療連携室は、室長である医師1名と専従看護師1名のスタッフが、「地域の各医療機関との連携がスムーズに、そして何より患者様に安心して受診して頂く」ことを目的に、平成19年より活動しています。

【かかりつけ医との橋渡し】

具体的には、かかりつけ医など他の医院・病院から患者様の紹介を受けて、院内の各診療科へ“橋渡し”する役割を担っています。

一般的に開業医は地域医療の窓口として一次診療を行う一方、当院のような二次的医療機関は主に“急性期医療”や“より高度な医療”といった入院医療および専門的な外来診療を担当するという形で役割分担がなされています。



【利用者様へお手伝い】

利用者の皆様の利便性を考え、待ち時間を少しでも短くするために手続きを簡素化したり、優先的な入院予約、あるいは退院後の自宅療養や転院支援といったお手伝いをさせて頂いています。

今後とも病院の「顔」として皆様に親しまれ、気軽に利用して頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

♥「救急搬送事例検討会」が
開催されました!!

去る5月21日(火)当院講堂にて、鹿角広域行政組合消防署とかつの厚生病院間で過去の救急搬送事例について活発に意見を交わしました。救急隊員と病院職員との連携強化や、救急医療レベルの向上を目指して、今後もこのような取り組みを続けていきます。



★ 通所リハビリテーションで実習中です

作業療法士をめざす学生さんが実習に来ています。

学校では経験できない病院の実習です。やさしい?先輩の指導を受けながら立派な作業療法士になってください。

実習中の学生さんから一言です。

●相澤さん……実習でたくさんのことを学び身につけ、患者さまから信頼される作業療法士になりたいです。

●添田さん……利用者さんとの会話の中で、様子に変化はないかどうか気づけることを目標に、大きく成長できるようにがんばります。

🍃 看護学生インターンシップ

当院では未来の看護師をめざす学生さん達のインターンシップを行っています。一日の様子をご案内します!!



看護師の卵です!

今日一日インターンシップ体験よろしくお願ひします。



「この病棟は整形外科、泌尿器科、形成外科、皮膚科の4科の混合病棟です」

「大変な病棟ですね」

「いろいろな知識、技術が要求される病棟です」



「大腸ポリープを切除した患者さんに使用した注射、材料を電子カルテに入力しています」

「漏れの無いように記録するのも大事な仕事です」



「目が悪いので爪を切るのが不安で切ってなかったのよ」

「深爪してませんか? 痛くないですか?」

「孫のような人に爪を切ってもらってうれしい。ありがとう。」

いい看護師さんになってね!

